



みすゞかる

須坂小学校

「自分から」「つながる」
「認め合う」

須坂支援学校

「自分から、自分で、
せいっぱい」

住所:須坂市須坂 780

印刷:須坂小学校職員室

発行責任者:竹村信之(校長)

小学校は7/25、支援学校は7/26に1学期の終業式を迎えます。この1学期、昨年度まで以上に、小学校と支援学校がつながり共に活動する機会が増え、お互いを知り、学び合う姿がありました。

みんなのひろばでレインボーコンサート～小6&にじ組の交流

昨年の音楽会では、支援学校の小学部が自分たちで作ったオリジナルの楽器で「アイタイ」を演奏し、聴いていた小学生も手拍子と一緒に盛り上がりました。「あの時の楽しさをもう一度」と、6/28と30の2日間、なかよしタイム（2時間目休み時間）に、小学校6年松組・竹組の皆さんも、自分で作ったオリジナル楽器を持ち寄り、中庭でにじ組の皆さんと一緒に演奏する「レインボーコンサート」が行われました。



にじ組の皆さんは昨年から使っているいろいろな太鼓、小学校6年生はペットボトルや牛乳パック・木の板…いろいろな素材を工夫して作ったそれぞれの楽器を鳴らして、「アイタイ」をいっしょに演奏しました。一つの曲を、小学校と支援学校の子どもたちが一緒に作り楽しむ素敵な時間となりました。



今年も楽しんでいきます フレイルーム交流

休み時間に支援学校と小学校の子どもたちが一緒に遊ぶ「フレイルーム交流」。今年は「お互いに名前を呼び合って交流を深めよう」と、自己紹介をしてから遊んでいます。

一番人気は「地球ブランコ」、他にも今年新しくなったトラポリンやハンモックのブランコを一緒に楽しんでいます。

交流後には「〇〇さんと一緒にブランコに乗って楽しかった」など、一緒に遊んだ友だちの名前が入ったメッセージが届けられました。



交流前に、支援学校の先生がお友だちの紹介をしています

大人気の地球ブランコ
回してもらったり回してあげたり



あたらしく2人の名前をおぼえました。ブランコをいっぱいやりました。Kくんのったりとめたのしかったです。さいごにKくんが「じゃあな！」といってくれてうれしかったです。

6年松組が小学部で読み聞かせ

7/20(水)、6年松組の皆さんが小学部で読み聞かせにチャレンジしました。「どんぐりころころ」のメンバーでもある図書館の井上先生に本選びや雰囲気作り、相手意識をもった読み聞かせのしかたなどのアドバイスをもらって、練習を重ねて臨みました。

最初に「ももちゃんです」「あおくんです」「はやっちです」と自己紹介するなどして雰囲気を和らげ、にじ組では大型絵本「たまごにいちゃん」、ほし組では紙芝居「くれよんさんのけんか」を読みました。小学部の子どもたちも目を向け耳を傾けてうれしそうにお話を聞いていました。6年生にとっても「相手のことを考えながら読む」という貴重な経験の場になりました。2学期にもまた取り組む予定です。



「教室に入ったときに元気におかえてくれてうれしかったです。がんばって、アレンジした名前を発表しました。元気にできました。少しかんだりしたけど、大きな声で読むことができたと思います。名前も覚えてくれるとうれしいです。」
 「本の読み聞かせをして、支援学校のほし組のみんながぼくたちのセリフにリアクションをとってくれて、話しているとだんだん楽しくなってきました。」
 「『くれよんさんのけんか』を読んで、にじ組のみなさんがいっしょうけんめい聞いてくれて読んでいる自分が楽しくなりました。名前までよんでくれてとてもうれしかったので、きてよかったな、と思いました。」

地域とつながって活動しています



「どんぐりころころ」の皆さんの読み聞かせ再開



今年も将棋囲碁クラブの指導をしていただいています



4年松組が、奥田神社境内で八町きゅうりを販売



3年生は地域の工場見学



副学籍校の運動会に練習から参加



校内実習レポーター班、農村工業研究所へチラシ配布



1学期は、小学校も支援学校も、地域



須坂創成高校の3年生と6年生と一緒に花壇づくり

とつながり、地域で学ぶ、地域の方と共に学ぶ機会がたくさんありました。また、前回の校長室だよりで「支援学校のプール見守りボランティア募集」のお願いをしたところ、須坂小の保護者1名、支援学校保護者2名、地域の方1名の4名の方がご協力を申し出てくださいました。お陰様で、安全にプールの学習を行うことができました。ありがとうございました。

コロナ禍の制限が緩んだり再び厳しくなったりした1学期でしたが、保護者の皆様・地域の皆様に温かく支えられて、無事終えることができます。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

